

放射線画像データ等を用いた後ろ向き研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2017年11月1日～2027年3月31日

〔研究課題〕

放射線画像データ等を用いた包括的後ろ向き研究

〔研究目的〕 疾患を正しく診断し、より適切で有効な治療法を開発します。

〔研究意義〕 我々の研究活動の基礎になるのが、実際に当科を受診された患者さんの診療録(カルテ)や画像診断で得られた情報です。患者さんの診療録に記録されている各種臨床情報、画像情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、医学の発展のために大変貴重なものです。そこで当科では、過去に当院を受診された患者さんを対象として、診療で得られた情報を解析し、今後の診療に有益な情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

〔対象・研究方法〕 1999年1月1日から2024年5月30日の期間にて帝京大学医学部附属病院を受診された患者さんの診療録および画像情報を研究の対象といたします。診療記録を閲覧し、患者さんの個人情報を排除して、別の番号で加工し、病歴、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。研究者は帝京大学において解析を実施します。

〔研究機関名〕 帝京大学

〔個人情報の取り扱い〕

本研究は、過去の診療録に基づく調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康状態に直接影響を及ぼすことはなく、患者さんから採取した資料を実験的に用いることもありません。氏名・生年月日・ID番号などの個人情報はすべて加工されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かによって実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。また、ご協力いただける場合でも謝金等は発生いたしません。なお、本研究は放射線科の研究費で行われます。研究終了後はデータを倫理委員会事務局に提出し、TARCにて10年間保管した後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 古徳純一¹⁾ 職名 教授

研究分担者:氏名 白石憲史郎²⁾ 職名 病院教授

所属: 1)大学院医療技術学研究科診療放射線学専攻 2)医学部放射線科学講座

住所: TEL:03-3964-1211(代表) [内線 7116]

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1